



お便りBOX

皆さんからいただいたお便りを紹介します。
今後の広報誌づくりの参考にさせていただきます。

◆ 昨年12月に那須塩原市民になりました。それまでは神奈川県の大らかな都市に住んでいました。広報誌を読んで行政や那須という土地にすでに距離の近さ、親しみを感じています。今まで住んだ土地には感じたことのない特別な気持ちです。まだ知らないことがたくさんあると思うので、ローカル情報楽しみにしています。4月5日号の予算を家計に例える誌面がおもしろかったです。

エリーさん(下永田)30代女性

◆ 広報の表紙の「広報なすしおばら」の、日本語と英語の大きさを逆にして頂きたいです。トチギイブックスで広報が見られるとの事で拝見したら、他の市はひらがなや漢字でパッと目に入り見つけやすいのに、那須塩原は見つけづらかったです。やさしいな事ですが、頑張っ作っていらっしやる広報なのにどこか分からず目に留まらないのもつたいないです。

たろいもさん(西三島)30代女性

◆ 野菜もみんなが必要であり、買ったたりもらったりするのは大好きでありながら自分で仕事にするのは、ほとんどの人がイヤな仕事なのです。

昔からの大きな農家の空き家が目立つこの頃、りっぱな人達がいて頭が下がります。いっぱい書きたくても、書く所がありません。

T・Oさん(西新町)70代女性

Q. あなたが好きなコーナーはどれですか？(複数可)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 表紙 | 2. 特集 |
| 3. 行政 info | 4. タウントピックス |
| 5. 子育て連絡帳 | 6. チャイルドトピックス |
| 7. 健康だより | 8. 図書館へ行こう！ |
| 9. お便りBOX | 10. なすしおばら珍百景 |
| 11. ちっちゃな自然 | 12. 編集後記 |
| 13. げんきびと | 14. ものづくり若人 |
| 15. 私のまちの近い遺産 | |

広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題や記事などをお書きください。

持続化給付金の申請サポート会場を開設しました

申請方法がわからない人、できない人向けのサポート会場を開設したので、利用してください。

- ▶ **会場** いきいきふれあいセンター
- ▶ **開設予定日** 7月31日(金)まで
- ※7月4日～25日の毎週土曜、祝日を除く。

〈事前予約が必要です〉

電話かホームページで予約してください。電話の場合は、会場番号「0910」を伝えてください。

- ・会場受付専用ダイヤル(24時間受付) ☎ 0120(835)130
- ・会場電話予約窓口(午前9時～午後6時) ☎ 0570(077)866



詳しくはこちら



※いただいたご意見は、内容を変えない範囲で添削させていただく場合があります。
※紙面の都合上、掲載できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

図書館へ行こう！



現在、図書館は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館していますが、インターネット、電話などでの予約による貸出・返却の一部サービスを再開しました。詳しくは問い合わせてください。

NEW!

『ステップアップ0歳音読—親子で楽しむ知育—』



著：山口 諒司 ざくら舎
「あむあむ」など、0歳児でも発音できるリズムカルでおもしろいことばと、楽しい絵がちりばめられている知育絵本。目・耳・口を使って、赤ちゃんも大人も一緒に楽しめます。一緒に音読楽しいね。

『空とぶ船とゆかいなななま ウクライナのむかしばなし』



再話：パレリー・ゴルバチョフ 光村教育図書
「空とぶ船に乗って城まで来たものを王女と結婚させる」というおふれを聞いて旅に出た「世界一のまぬけ」と呼ばれる若者。船を手に入れ、ななまたちと共に城に向かいますが…個性豊かなななまたちが大活躍！

『踏み跡にたたずんで』



著：小野 正嗣 毎日新聞出版
小説家の男性と猿の不思議な因縁を描いた「猿染めの沼」をはじめとする、いつか見たような場所で巻き起こる、白昼夢のようなできごと。どこか懐かしい掌編小説集です。非日常に浸ってみませんか？

『デイビッド・マックチャーパーと29ひきの犬』



文：マーガレット・ホルト 大日本図書
おつかいに行った先で、袋が破れて買ったお肉の包みを落としてしまったデイビッド。お肉を狙う犬たちから逃げていたら、町の人たちも集まってきて、気が付けば大行列に。大行列の行く末は？

『毒薬の手帖』



著：デボラ・ブラム 青土社
人はどのようにして毒殺事件の解明に取り組んできたのか。アメリカ社会の歴史に爪痕を残してきたさまざまな毒薬と、それらを用いた事件に立ち向かった二人の捜査官の記録。法医学はどのように発達したのか。



著：中川 なをみ あすなる書房
沖縄の伝統工芸を代表する「紅型(びんがた)」。幾度も消えかかったその美しい染物をここにちまで伝え、発展させてきた人々の足跡を辿る。沖縄の歴史や文化を知る手がかりにもなる1冊。

〈沖縄のこころ〉を伝えた人々のノンフィクション。

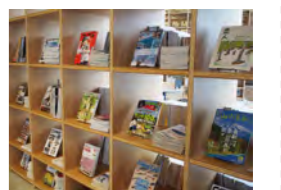
ちょこっとコラム

那須塩原市図書館「みるる」の開館に向けた本格的な引っ越しを行いました。閉館後の黒磯図書館では、引っ越しを待つ15万冊を超える本が入った段ボール箱がところ狭しと並び、圧巻の光景でした。4月以降、「みるる」の本棚に本が並び、一段と図書館らしくなってきました。これから、テーマごとに本を集めた企画展示や、皆さんにより多くの本を手にとっていただけるようなレイアウトなどの作業を行っていきます。

※7月1日(水)を予定していた「みるる」の開館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期します。



「みるる」への引っ越しを待つ黒磯図書館の段ボール箱の海



本が並び「みるる」の本棚